



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~sakurada/cms2/htdocs/>

2/27 6年生を送る会のリハーサルを公開しました。応援ありがとうございました。

学年ごとに発表を公開して行いました。

ずっとお世話になっている見守り会、園芸ボランティア、図書ボランティア、緑の会、そしてCS(コミュニティスクール)委員の皆さんにもご覧いただきました。わずかな時間にもかかわらず保護者の皆様にも大勢お越しいただきました。発表の様子を温かい目で見守っていただき、子どもたちとてもうれしそうでした。ありがとうございました。



3/2 6年生を送る会 大成功!



一人一人が精いっぱい取り組み、みんなで励まし合い、支え合いながら表現することで、見ている人、聞いている人に「ありがとう」の気持ちやメッセージを届けることができました。



1年生の作ったペンダントを胸に6年生が堂々と入場しました。一人一人の好きなことが紹介されました。



1年生はかわいくキレキレのダンスで全体を盛り上げました。紙飛行機対決や替え歌などで「6年生すごい!6年生大好き!!」を伝えました。



2年生は「レインボーのダンス」はリズムに乗ってのびのびと踊りました。「ありがとうの花」の合唱では手話とともに素敵なありがとうの花を咲かせました。



3年生は劇やクイズ、ダンスにリコーダーと盛りだくさんでした。懐かしい物語や素敵なピアノ伴奏と笛の音色からは「思い出や成長」を感じることができました。



4年生は見事なダンスと縄跳びを披露し、会場から大きな歓声沸き起こりました。リハーサル時の歌もそうでしたが2年後にどんな6年生になるのか楽しみな姿を見せてくれました。



5年生は実行委員を中心によくがんばりました。6年生とともに取り組んだ運動会を思い出しました。学校全体に目を向けたクイズなどからは「未来・新たな希望」を感じました。



6年生は名探偵コナンのテーマ曲を見事に演奏しました。ますます6年生へのあこがれの気持ちが高まったようです。

校旗の継承を行いました。6年生から5年生へ最高学年の役割をバトンタッチしました。安心して任せられそうです。

6年生が胸を張り堂々とした姿で退場しました。1～5年生がしっかりと拍手で送りました。

「感謝の心が人を育て、感謝の心が自分を磨く！」送る在校生、送られる卒業生それぞれの成長を感じました。

平和について考える！ 6年生

桜台にお住まいの坂牧幸子さんを講師に迎え、原爆の恐ろしさ、平和の尊さについて6年生が学びました。坂牧さんは長崎で生まれ、1歳半で被爆しました。2024年にノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会（日本被団協）の会員でもあります。爆風で飛ばされ、火傷を負い、家も火事で失い、防空壕で生活したことなど、体験をもとにお話ししていただきました。原爆症により幼くして母を亡くし、きょうだいとも一時はバラバラになりながらも懸命に生きた小学校時代。青年時には父も原爆症がもとで亡くなったそうです。想像を超えるつらい経験を乗り越えながら、平和の大切さを力強く訴えてみえます。原爆に関する資料のパネルや当時の写真なども見せていただきました。たくさんの子どものごもつと知りたいたと質問をしていました。被爆体験の語り部さんから直接お話を伺うという貴重な機会を得られました。戦争の悲惨さ、恐ろしさ、平和を守ることの大切さなどをしっかりと考える時間となりました。



6年生 残りわずかな日々の中で…

3月4日（水）に6年生の企画した「ありがとうの会」が行われました。6年生と教職員がともに集い、楽しいひとときを過ごすことができました。実行委員の見事な進行でとても盛り上がりました。一緒に長縄8の字の2分間跳びの競争やダンス玉入れ、チーム対抗のイントロクイズや先生対6年生の綱引き勝負など楽しみました。さらに懐かしのじゃんけん列車でつながり心も一つになりました。最後は6年生からサプライズのプレゼントに感激しました。笑顔あふれる思い出深い素敵な時間となりました。6年生のみなさんありがとうございました。

